

2022年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2022年8月9日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
 コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
 代表者（役職名）取締役兼代表執行役社長CEO（氏名） 廣田 浩治
 問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役副社長CFO（氏名） 館 尚嗣 (TEL) 06-6224-0193
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 2022年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)
 (百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	38,258	10.1	1,352	△62.7	1,542	△52.7	403	△85.0	399	△85.1	10,682	55.1
2021年12月期第2四半期	34,738	44.6	3,625	173.4	3,258	229.2	2,681	287.2	2,680	286.6	6,889	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
	円 銭				円 銭							
2022年12月期第2四半期	9.84				9.84							
2021年12月期第2四半期	66.65				66.10							

(参考) EBITDA 2022年12月期第2四半期 3,147百万円 (40.8%減) 2021年12月期第2四半期 5,312百万円

EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費。なお、EBITDAは金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	167,039	63,474	63,433	38.0
2021年12月期	157,174	53,369	53,335	33.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	28.00	—	16.00	44.00
2022年12月期	—	13.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	13.4	5,650	△2.9	4,555	△9.0	2,432	△31.6	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	41,581,800株	2021年12月期	41,571,500株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	1,008,275株	2021年12月期	1,019,286株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	40,566,119株	2021年12月期2Q	40,207,250株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	2
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	4
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間では、欧米ならびに日本において防疫と経済活動の両立が徐々に進むなか、消費や投資を中心に一定の景気回復が認められます。一方、半導体不足による自動車の減産や、中国での新型コロナウイルス対策による都市封鎖、原材料・エネルギー・輸送価格の高騰などが企業活動や消費の重しになり、回復基調の鈍化が世界経済に波及している状況にあります。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上収益は、EVの生産が順調に増加、工作機械需要が堅調に推移したことが寄与し、併せて原材料等の高騰に対する価格転嫁ならびに急激かつ大幅な円安効果もあり、前年同四半期比10.1%増の38,258百万円となりました。利益では、売上高の増加およびコスト改善の効果が見られた一方で、当第2四半期において、欧州ローラービジネス構造改革に対する費用として23億円が発生したことから、営業利益は前年同四半期比62.7%減の1,352百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比85.1%減の399百万円となりました。

コスト改善および成長戦略の推進を中心に、2022年12月期の経営目標を達成すべく、引き続き有効な手立てを講じてまいります。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、工作機械向けならびにEV向けセラミックボールの需要やアジア地域でのスチールボールの需要が継続して拡大したこと等により、前年同四半期比10.3%増の35,581百万円となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、欧州ローラービジネス構造改革に対する費用23億円の発生を受け、前年同四半期比64.3%減の1,187百万円となりました。

リニアビジネス

リニアビジネスの売上収益は、工作機械等の需要が堅調に推移したことにより、前年同四半期比8.4%増の2,676百万円となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、プロダクトミックス等の影響により、前年同四半期比46.4%減の155百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ9,865百万円増加し167,039百万円となりました。これは、営業債権及びその他の債権が2,632百万円、棚卸資産が6,047百万円増加した一方、借入金9,030百万円の返済により現金及び現金同等物が10,047百万円減少したため、流動資産が995百万円減少したものの、有形固定資産が3,809百万円、無形資産及びのれんが3,530百万円、その他の非流動資産が3,671百万円、円安の影響等で増加したため、非流動資産が10,860百万円増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ240百万円減少し103,565百万円となりました。これは主に、短期借入金が9,030百万円減少した一方、営業債務及びその他の債務が2,138百万円、社債及び借入金が多額の円安の影響で4,031百万円、その他流動負債が2,274百万円増加したことによります。

資本につきましては、前期末に比べ10,105百万円増加し63,474百万円となりました。これは主に、前期末からのUSドル高及びユーロ高の影響により、その他の資本の構成要素のうち為替換算調整額が10,400百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、586百万円の増加となりました。主な要因としては、税引前当期利益1,542百万円、減価償却費及び償却費1,795百万円などの資金の増加要因があった一方で、販売増に伴う営業債権及びその他の債権の増加937百万円、第3四半期の拡販に向けての棚卸資産の増加3,002百万円などの資金減少要因がありました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出を主な要因とし、2,210百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出9,030百万円を主な要因とし、9,813百万円の減少となりました。これらに当第2四半期連結累計期間中のUSドル高及びユーロ高を主な

要因とする、1,390百万円の換算差額等を加算した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は22,477百万円と前連結会計年度末と比べ10,047百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期通期の業績予想につきましては、不透明な経営環境が続くとみておりますが、コスト改善および成長戦略の効果を最大限に生かしながら、2022年12月期の連結業績予想の達成に取り組んでまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,524	22,477
営業債権及びその他の債権	15,096	17,728
棚卸資産	28,021	34,068
その他の流動資産	1,389	1,762
流動資産合計	77,030	76,035
非流動資産		
有形固定資産	32,370	36,179
無形資産及びのれん	46,878	50,408
その他の投資	293	207
繰延税金資産	480	416
その他の非流動資産	123	3,794
非流動資産合計	80,144	91,004
資産合計	157,174	167,039
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,551	8,689
借入金	12,030	3,000
未払法人所得税等	1,365	1,825
その他の流動負債	4,864	7,138
流動負債合計	24,810	20,652
非流動負債		
社債及び借入金	71,958	75,989
退職給付に係る負債	2,507	2,478
繰延税金負債	2,172	2,287
その他の非流動負債	2,358	2,159
非流動負債合計	78,995	82,913
負債合計	103,805	103,565
資本		
資本金	17,102	17,108
資本剰余金	11,415	11,451
自己株式	△1,648	△1,616
その他の資本の構成要素	△1,378	8,898
利益剰余金	27,844	27,592
親会社の所有者に帰属する持分	53,335	63,433
非支配持分	34	41
資本合計	53,369	63,474
負債及び資本合計	157,174	167,039

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月 1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)
売上収益	34,738	38,258
売上原価	27,484	30,853
売上総利益	7,254	7,405
販売費及び一般管理費	3,647	3,982
その他の収益	86	32
その他の費用	68	2,103
営業利益	3,625	1,352
金融収益	128	784
金融費用	495	594
税引前四半期利益	3,258	1,542
法人所得税費用	578	1,139
四半期利益	2,680	403
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,680	399
非支配持分	△0	4
四半期利益	2,680	403
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△7	△58
純損益に振り替えられない項目の合計	△7	△58
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	4,116	10,403
キャッシュ・フロー・ヘッジ	56	82
ヘッジコスト	44	△148
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	4,216	10,337
税引後その他の包括利益	4,209	10,279
四半期包括利益	6,889	10,682
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,887	10,675
非支配持分	2	7
四半期包括利益	6,889	10,682
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	66.65	9.84
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	66.10	9.84

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
売上収益	17,846	19,631
売上原価	14,062	15,675
売上総利益	3,784	3,956
販売費及び一般管理費	1,902	2,040
その他の収益	18	13
その他の費用	67	2,102
営業利益 (△損失)	1,833	△173
金融収益	12	553
金融費用	359	276
税引前四半期利益	1,486	104
法人所得税費用	133	747
四半期利益 (△損失)	1,353	△643
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	1,353	△646
非支配持分	△0	3
四半期利益 (△損失)	1,353	△643
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△11	△21
純損益に振り替えられない項目の合計	△11	△21
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	701	5,990
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△18	△2
ヘッジコスト	49	△176
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	732	5,812
税引後その他の包括利益	721	5,791
四半期包括利益	2,074	5,148
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,073	5,143
非支配持分	1	5
四半期包括利益	2,074	5,148
1 株当たり四半期利益 (△損失)		
基本的 1 株当たり四半期利益 (△損失)	33.54	△15.92
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (△損失)	33.24	△15.92

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年1月1日 残高	16,843	11,010	△1,651	0	60	△6,872	△949
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△7	4,114	56
四半期包括利益	—	—	—	—	△7	4,114	56
株式の発行	181	180	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	56	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等合計	181	236	△0	△0	—	—	—
2021年6月30日 残高	17,024	11,246	△1,651	0	53	△2,758	△893

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2021年1月1日 残高	295	△7,466	25,947	44,683	29	44,712
四半期利益	—	—	2,680	2,680	△0	2,680
その他の包括利益	44	4,207	—	4,207	2	4,209
四半期包括利益	44	4,207	2,680	6,887	2	6,889
株式の発行	—	△0	—	361	—	361
剰余金の配当	—	—	△560	△560	—	△560
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△0	—	56	—	56
所有者との取引額等合計	—	△0	△560	△143	—	△143
2021年6月30日 残高	339	△3,259	28,067	51,427	31	51,458

当第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	その他の資本の構成要素		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2022年1月1日 残高	17,102	11,415	△1,648	0	54	△1,021	△724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△58	10,400	82
四半期包括利益	—	—	—	—	△58	10,400	82
株式の発行	6	6	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	32	—	—	—	—
株式報酬取引	—	30	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	6	36	32	△0	—	—	—
2022年6月30日 残高	17,108	11,451	△1,616	0	△4	9,379	△642

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2022年1月1日 残高	313	△1,378	27,844	53,335	34	53,369
四半期利益	—	—	399	399	4	403
その他の包括利益	△148	10,276	—	10,276	3	10,279
四半期包括利益	△148	10,276	399	10,675	7	10,682
株式の発行	—	△0	—	12	—	12
剰余金の配当	—	—	△651	△651	—	△651
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	32	—	32
株式報酬取引	—	—	—	30	—	30
所有者との取引額等合計	—	△0	△651	△577	—	△577
2022年6月30日 残高	165	8,898	27,592	63,433	41	63,474

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月 1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,258	1,542
減価償却費及び償却費	1,687	1,795
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△71	△79
受取利息及び受取配当金	△11	△38
支払利息	367	562
為替差損益(△は益)	△108	△636
固定資産売却損益(△は益)	△40	△1
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,684	△937
棚卸資産の増減額(△は増加)	△569	△3,002
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,548	1,174
その他	604	1,610
小計	4,981	1,990
利息の受取額	13	35
配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△382	△553
法人所得税等の支払額	△537	△890
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,077	586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△731	△2,166
有形固定資産の売却による収入	71	2
無形資産の取得による支出	△123	△46
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△2,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000	—
長期借入れによる収入	16,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,583	△9,030
リース負債の返済による支出	△156	△166
新株予約権の行使による収入	363	12
配当金の支払額	△561	△634
自己株式の売却による収入	—	5
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,063	△9,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	447	1,390
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,805	△10,047
現金及び現金同等物の期首残高	14,987	32,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,792	22,477

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」及び「リニアビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

なお、「その他」は、当期より報告セグメントに含んでおりません。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	32,269	2,468	1	34,738	—	34,738
セグメント間収益	2	—	15	17	△17	—
連結収益合計	32,271	2,468	16	34,755	△17	34,738
セグメント利益	3,324	290	11	3,625	0	3,625
				金融収益		128
				金融費用		△495
				税引前四半期利益		3,258

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	35,581	2,676	1	38,258	—	38,258
セグメント間収益	4	—	14	18	△18	—
連結収益合計	35,585	2,676	15	38,276	△18	38,258
セグメント利益	1,187	155	10	1,352	0	1,352
				金融収益		784
				金融費用		△594
				税引前四半期利益		1,542

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

前第2四半期連結会計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	16,456	1,390	0	17,846	—	17,846
セグメント間収益	0	—	8	8	△8	—
連結収益合計	16,456	1,390	8	17,854	△8	17,846
セグメント利益	1,654	175	4	1,833	0	1,833
				金融収益		12
				金融費用		△359
				税引前四半期利益		1,486

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第2四半期連結会計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	18,214	1,416	1	19,631	—	19,631
セグメント間収益	2	—	7	9	△9	—
連結収益合計	18,216	1,416	8	19,640	△9	19,631
セグメント利益(損失)	△316	138	5	△173	0	△173
				金融収益		553
				金融費用		△276
				税引前四半期利益		104

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益(損失)の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。